# たばこ火災が 多発しています!!

# たばこ火災って多い?

多摩市内では、たばこが原因の火災が連続して発生しています。

東京消防庁管内でも令和4年中は、571件 (速報値)発生しており、全火災原因の約15% を占めています。

## たばこ火災のメカニズム

たばこの<mark>火種を綿座布団に接触させても、す</mark>ぐに炎は立ち上がりません。着火物の綿座布団がしばらく無炎燃焼を継続し、何らかの可燃物に接触したり空気が流入することで出火します。廃棄してから数時間後に出火することもあるので注意が必要です。



A TOP



たばこを座布団に接触

35分後

焼損状況

4~5時間

5~6時間

6時間以上

6

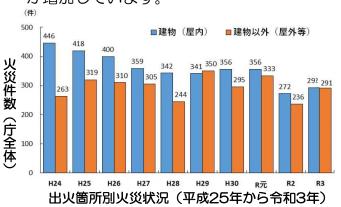
2

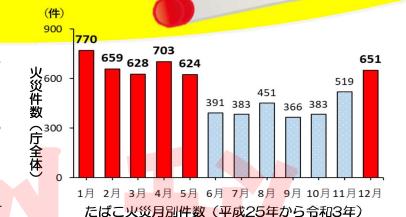
4

1

# たばこ火災の出火箇所

建物内では<mark>居室、</mark>建物以外では<mark>敷地内</mark>で多く 発生しています。近年は建物以外の火災の割合 が増加しています。



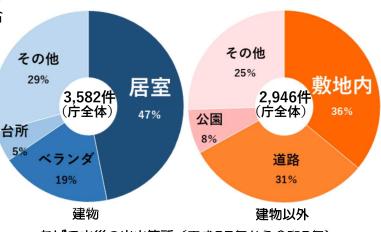


合 火 出火に至った 時間 床 紙 品合 ・その他 維 < 類 ず 204 54 119 16 3 1時間未満 1~2時間 27 2~3時間 15 5 3~4時間 8

出火に至った時間と着火物(令和3年中)

2

1



たばこ火災の出火箇所(平成25年から令和3年)

問合せ先 東京消防庁

多摩消防署 TEL: 042-375-0119

# たばこ火災の事例 ~建物編~

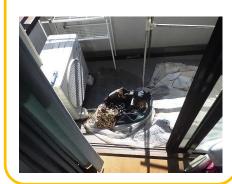
### 掛布団に火種落下

居住者がベッド上で喫煙中にたばこの火種が掛布団に落下したため、 掛布団に着火し無炎燃焼を継続して出火しました。



### ベランダのごみ袋に廃棄

居住者がベランダで喫煙後、ごみ袋の中に火種の残った吸い殻を捨てたため、大量の吸い殻に着火し無炎燃焼が継続し、約10分後に出火しました。



### 溜まった灰皿の中に廃棄

居住者が喫煙後に火種の残った たばこを吸い殻が溜まった灰皿に 捨てたため、周囲の吸い殻に着火 して出火しました。



# たばこ火災の事例 ~屋外編を



### 立木に投げ捨て

公園内の立木の樹洞内に火種が 残った吸い殻を捨てたため、立木が 焼損しました。この樹洞内には複数 の吸い殻が捨てられていました。



### 側溝に投げ捨て

道路の側溝内に火種の残った吸い殻を捨てたため、側溝内に溜まっていたごみに着火しました。



### ごみ置場に投げ捨て

敷地内のごみ置場に火種の残った吸い殻を捨てたため周囲のごみに着火しました。





# ~火災を防ぐポイント~

- (1) 寝たばこは絶対にしない!
- (2) くわえたばこで作業をしない!
- (3) 火のついたたばこを手に持ったまま歩き回らない!
- (4) 吸い殻は、灰皿やごみ箱に溜めない!
- (5) 吸い殻は、水につけるなど、完全に消えたことを確認した後に廃棄する!
- (6) たばこの投げ捨てや灰皿がない場所での喫煙はしない!
- (7) 喫煙場所に指定されている場所で喫煙する!

